

起因物、事故の型：トラック - 交通事故（道路）の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	業種小 コード	労 働 者 規 模
1	6~7	砂利プラント内でダンプに砂利を積み、動いている時によそ見をしたため前に止めてあるダンプに追突してしまった。なお、追突されたダンプは無 人であり、本人は命に別状なし。	65	40301	10 ~ 29
1	10~ 11	視界不良のため右折しようとして、中央線によって停車していたダンプ カーの発見が遅れ、ダンプカーの左後部に本事業所のトラクターが追突し てしまった。	41	40301	1~ 9
1	11~ 12	配達完了後、会社へ向かって走行中（30キロ程度）、当日の雨の影響もあ り、雪がやわらかく、ザクザクした雪と轍にタイヤをとられ、対向車線に はみ出してしまい、相手方のトラックの右前方へ衝突してしまった。	49	10101	—
1	3~4	走行中、自動車道上り車線パーキングエリア手前800m位で、凍結路面に より車輻が横滑りしたため、立て直そうとハンドル操作をしたが、車輻が そのまま横滑りし、ジャックナイフ状態になった。	46	40301	10 ~ 29
1	12~ 13	車を停車していたとき、4t車に追突された。	50	30199	—
1	11~ 12	脇見運転によりセンターラインをはみ出し、対向車両と衝突した。	62	40301	30 ~ 49
1	8~9	当社資材置き場より積んだ残土の処理を行った帰り、道路の下り坂が凍結 しており、当方の車（4tダンプ）減速したが、強風に煽られタイヤがス リップし、反対車線の先の土手に助手席側から衝突し、腰付近を強打し	24	30109	10 ~ 29

		た。			
1	9～ 10	県道交差点で、前の車両に追突した。	65	40303	10 ～ 29
1	20～ 21	配送のため2車線の左側走行車線を走行中、前方に接触事故を起こしていた4t回送車（ハザード点滅なし、無灯光）が停車しており、路肩は狭く道にはみ出しており、また、周囲も暗かったため前方の車に気付くのが遅れ接触し、前方の大型車両にも追突して受傷した。	39	40301	10 ～ 29
1	15～ 16	走行中、信号が赤になり停止した時に後から走行して来たダンプカーが止まらずに追突し、頭部打撲・頸椎捻挫・左下腿打撲を負った。	31	80109	30 ～ 49
1	6～7	大型トラックでの配送を行い、配送業務が終了し、帰社するため走行中、後方より大型ウイング車に追突された。事故相手から聞いた証言では、居眠り運転をしていたとのことである。	58	40301	10 ～ 29
1	14～ 15	事務所で荷物を積み、7tトラックで取引先である事務所へ向かっていた。下り線より出口の料金所へ向かうカーブでハンドル操作を誤り、車は横転し、首を痛めた。	3	40301	—
1	13～ 14	コンビニの駐車場に右折で入ろうとしたところ、反対車線直進中の車（軽トラック）が来ているのを気付かずに進入したため、自車（中型冷蔵トラック）の左側に相手車が衝突し、首にむちうちを負った。	45	40301	10 ～ 29
1	20～ 21	下り車線、急に車が停車した為調べていた所、いきなり4トントラックが接触して、物損事故を起こして話し合い中、いきなり大型トラックが追突して来て、トラックの下敷きになって即死した。	54	40301	10 ～ 29
1	3～4	ごみの運搬回収のため、トラックで走行中に、中央よりやや右側を走行し、少しよそ見をした時に突出している柱に衝突し負傷した。	66	150102	10 ～ 29
	12～	高架をくぐり抜けようとしたところ、高さ2.7m・車両3.64m制限があり衝			50

1	13	突し、助手席に乗っていたアルバイトとドライバーが病院に搬送された。 アルバイトは、前歯が一本折れ、背骨に圧迫骨折と診断された。	29	40301	～ 99
1	5～6	道路にてゴミを回収する為停車した際、後方から追い抜きをしようとした相手方4t車の左側面と自車右側面に追突された。	51	150102	50 ～ 99
1	7～8	自社倉庫に行った帰り道が渋滞しており、停止している中、後続車に追突され体を打った。	51	40301	—
1	15～ 16	資材置き場まで2tダンプで運転中、丸パイプとコンパネとリン木（型枠材）を積んで移動している最中、4tトラックとの接触事故が発生した。	18	30199	—
1	21～ 22	ETCゲートを通り、分岐点をまっすぐ進み分岐案内の標識の支柱に接触し、トラックのフロントはぐちゃぐちゃになり、トラックとの間に挟まれた。	34	40301	50 ～ 99
1	4～5	路上にて、スピンし横に向いていた乗用車を避けようと徐行気味になり、停止していた4t車に気付くのが遅れ追突した後、後方より走行してきた4t車に追突された。	38	40301	30 ～ 49
1	10～ 11	休日出勤中、同僚とオフィスで打ち合わせをし、お客様宅に車で向かうため走行中、対向車のダンプカーがセンターラインを越えて自車右側に衝突し、首・肩・腰・背中への打撲と捻挫を負い、救急搬送された。	57	90103	300 ～ 499
1	23～ 24	高速道の左側車線を毎時速80kmで走行中、指定の速度を超えそうになったので少し速度をゆるめた時に、後続して来たトラックに後方から追突された。	53	40301	50 ～ 99
1	15～ 16	現場からの現場へ移動途中、交差点を右折する為、右側へ車線変更を行ったところ、後方より接近してきたトラックの後部荷台と接触し、右肘を負傷した。	37	170209	100 ～ 299
1	4～5	走行中ブレーキをかけた時に路面が濡れており、荷台が空だったため後輪が滑り、ハンドルが取られてしまい、反対車線側の壁に衝突して止まった。	48	40309	—

1	20～ 21	次の配達に向かう為、車両を停車し配達に向かう際に対向車を交わす時に、車両のライトに気を取られ、目測を誤り、用水路に落下し、左肩を負傷した。	44	40301	10 ～ 29
1	21～ 22	荷物を運搬するため会社から出発し、約80キロで走行中、444.2kポスト付近は、当時積雪のため渋滞中であったが、車両に気づくのが遅れて前方の車に追突し、左胸を強打し、血気胸、左肋骨骨折を負った。	55	40301	—
1	12～ 13	道路走行中、対向車がセンターラインを越えてトラック前方に衝突した。	34	40301	50 ～ 99
1	14～ 15	青信号を確認し、横断歩道を自転車で走行中、交差点で左折して来たトレーラーに巻き込まれた。	62	90103	30 ～ 49
1	15～ 16	走行中、前の4tダンプが信号待ち車両があったため停止しようとしたところ、後から走っていた本人運転の車が追突した。	45	30106	30 ～ 49
1	15～ 16	走行中、前の4tダンプが信号待ち車両があったため停止しようとしたところ、後から走っていた車に同乗している車が追突した。	40	30106	30 ～ 49
1	11～ 12	農場で夜間の補修作業を終え、キャブオーバの貨物車に3人が乗り、駐車場（ベルトコンベア、長さ5m、重さ約50キロを運ぶため、常時キャブオーバの貨物車に載せて駐車し、乗り合わせて、その都度現場の農場に向かう場所）に向かうため、作業員①の運転で農場を出発し約1時間運転の後、運転を作業員②と交替し、貨物車の後部座席に乗って走行中、車が車道と側溝の間の土手に立ててある道路案内標識支柱に衝突し、打撲負傷した。	63	40301	30 ～ 49
	11～	農場で夜間の補修作業を終え、キャブオーバの貨物車に3人が乗り、駐車場（ベルトコンベア、長さ5m、重さ約50キロを運ぶため、常時キャブオーバの貨物車に載せて駐車し、乗り合わせて、その都度現場の農場に向			30

1	12	かう場所) に向かうため、作業員①の運転で農場を出発し約1時間運転の後、運転を作業員②に交替し、貨物車の助手席に乗って走行中、車が車道と側溝の間の土手に立ててある道路案内標識支柱に衝突し打撲負傷した。	34	40301	～ 49
2	16~17	4tユニック車にて走行中、スリップして対向車線にはみ出して路外に逸脱し道路標識の支柱に衝突し横転した。現場は直線道路でブラックアイスバーン状態であった。なお、被災労働者は助手席に乗っており、運転は同僚が行っていた。	71	30105	1～ 9
2	13~14	海砂を積載した10tダンプを走行中、アイスバーン状態のやや下りの右カーブでトラックの後部が尻振りを起こしたため立て直そうとしたが、制御できずスピン状態となり対向車線に停車していた貨物自動車に当方の左前側面と先方の運転席正面と衝突した。本件の事故割合は当方100%であり、現在運転手は左膝を打撲し通院中である。	48	40301	30 ～ 49
2	8~9	トレーラーにて高速道路を走行中、トンネルを出た時に横風に流されてしまい対向車線へはみ出しそうになったのでハンドルを切り避難停車場所に入ろうとしたがガードレールを破って停止した。その時に負傷したものである。	42	40301	30 ～ 49
2	11~12	県道で、1.5t車ヘトラックで（荷物なし）走行中に対向車のトレーラーが、脇見をして、左の縁石にタイヤをぶつけてバーストして操縦不能になり、対向車線（自車の車線）に進入し正面衝突した。	69	80109	10 ～ 29
2	14~15	見積り依頼があり、終了して会社に戻る途中、狭い道路で対向車とのすれ違い時、対向車のスピードが速く道路沿いの駐車場に停まっている車にぶつかり、その衝撃で首を痛めてしまった。	27	30309	—
2	15~16	改修工事の工区内にて、工事で使用するブロック材を搬入する為4t車を運転手と同乗者の2名で西側海岸の農道（幅員約3m）を時速約10km走行で南進していたところ、前方不注意により柵などの転落防止措置がない側に左側前輪を脱輪してしまい、そのまま法面を滑るように落下し横転した。上流側の工事のため堰き止められていて水はなく、露出した川底面に車両左	64	30107	—

		側が激突し大破した。その際、運転していた作業員2名（当該被災者）が被災した。			
2	2~3	当社へ向けて大型貨物車で運行途中、2車線から1車線に絞り込み地点で、相手車両が当方車両を抜かせると思い追い越し車線を走行したものの、当方車両の右側後方に衝突し、首・肩を痛めたものである。	45	40301	50 ~ 99
2	8~9	お客様宅へ商品を配送中（車を運転中）に付近の信号機のない交差点で、右側から直進してきた車に自車の右側面後方に衝突された。	29	80209	30 ~ 49
2	12~13	交差点にて信号待ちのため停車中に後続車両に追突された。相手方は、停車後ギアが入っているにもかかわらず、クラッチを放してしまったため、前進して衝突してしまったとのことである。	36	40301	—
2	12~13	吹付工事現場から会社のトラックに搭乗し会社に戻る途中、S字カーブで運転手が脇見をしてしまい、高さ50cm程のブロック塀に衝突してしまい、その際の衝撃で負傷し、当日に通院した。	33	30199	1~ 9
2	15~16	出口付近にて信号渋滞となり、停止と発進を繰り返す状況となった。完全停止している状況で、後方の2tトラックより追突を受けた。	45	40201	300 ~ 499
2	9~10	造成現場でポンプ打作業のためコンクリートミキサー車をバックしてポンプ車につける時に、昇らないためアクセルをふかしたら、後ろが横すべりして右側の崖に落ちた。	45	10901	10 ~ 29
2	8~9	被災者は、実車中渋滞のため、前車に続き停車していたところ、後方から走行してきた相手方トラックに追突され、負傷したものである。	54	40201	100 ~ 299
2	5~6	片側2車線の第1車線を走行中、後方か居眠りで走行してきた4t車両に追突されたものである。被災者は救急搬送され、診断の結果、頸部挫傷と診断された。	46	40301	30 ~ 49
		走行中前の車が渋滞で停止している車に気付かず追突して右足小指を負傷			10

2	18~19	する。	34	40301	~ 29
2	13~14	赤信号で止まっていた時、青信号に変わったので発進しようとしたら、前の車がエンストして止まったので自分も止まったところ後方よりトラックに追突された。	34	80204	10 ~ 29
2	13~14	自車トラック（4t車）にて物品の配達を終え、会社へ戻るため上り線を走行中、渋滞最後尾で低速走行していた相手車である運送会社のトラックに追突した。その衝撃により全身を強く打ち死亡した。	60	40301	30 ~ 49
2	5~6	上がり線で運転中、衝突事故を起こし停止していた大型貨物車に追突し負傷した。本人意識不明の為詳細不明。過失割合、本人：相手、10：0。	51	40301	10 ~ 29
2	16~17	トラックを運転中、高架下を通過する際、橋げたに接触し負傷した。	62	50202	1~ 9
2	16~17	トラックを運転中、高架下を通過する際、橋げたに接触し負傷した。	60	50202	1~ 9
2	18~19	業務にてトラックを運転走行中、前に乗用車が割り込んできた為、右へ車線変更したところ、その乗用車も同様に右へ車線変更してきた為、自車は急ブレーキを掛けスリップして横転して、受傷した。	53	30106	1~ 9
2	13~14	商品配達時、停車中のトラック運転席横でロープを両手で持って立っていたところ、開いていたドアに後方から走ってきたトラックが追突し、大きく開いたドアが反動で戻り、首・肩・肘が叩き付けられ、そのドアに挟まれる。	58	10602	10 ~ 29
2	10~11	信号の無い交差点で優先される道路を北から南進している時、一旦停止を無視して東から西進してきた軽トラックと接触した。負傷し受診したところ頸椎捻挫、腰椎捻挫、胸腹部打撲と診断された。	42	150103	50 ~ 99
2	9~10	橋の架け替え工事により迂回した道路（農道）にて、得意先へガスボンベを軽トラックで配達する業務中に、対向車が来たため、停車しようとした	25	80209	10 ~

		(農道)脇に自動車を寄せた際に、後輪が脱輪してしまい、農道わきの田んぼへ転落し、車両が横転し、負傷した。			29
2	16~17	下り線を帰社のため貨物積載状態のトラックにて90km/hで走行中、帰社後の仕事の段取りを考えながら運転していたために前方トラックへの接近に気付くのが遅れ衝突してしまい、自社トラックが大破し、右足を3カ所骨折した。	37	10909	50 ~ 99
2	4~5	貨物自動車で行中、相手がセンターラインを越えて対向してきて自車の右側に接触した際に負傷した。	38	40301	10 ~ 29
2	7~8	軽トラックで現場の個人宅に向かう途中、点滅信号赤で歩行者有りの為、停車していたところ、水産物地方卸売市場より駐車場を通り道路に出て右折した2t保冷車が後ろから追突した。(軽トラックは運転者と同乗者、計2人。) 停車中の後ろからの追突人身事故100:0で過失0である。	39	30209	1~ 9
2	14~15	一部増強工事で使用する土留しながら材用の丸太を買付け後に丸太を4t車に積んで現場に戻る途中で、左前輪タイヤがパンクしたため路側帯に停車した。助手席の同乗者は直ちに三角停止板を設置するために車外へ出て数台を通過させた。そこへ脇見運転の中型トラックが速度を緩めないまま突っ込んで来て停車中のトラックに衝突した。その衝撃で停車中のトラックが10m程度移動した。同乗者は直ちに被害トラックの前方に回り運転席の運転者を捜したが、キャビン内で発見出来ず、その後トラックとコンクリート壁の間に挟まれた運転者を発見した。停車から事故発生まで2~3分と思われる。	59	30301	1~ 9
2	4~5	交差点にて、4tトラックで荷物を載せて走行していた。時速50km~60kmで走行中、前をよく見ていなかった為、信号待ちしていた10t車輻に追突した。	59	40301	10 ~ 29
2	21~22	高速道路を大型トラックで走行中、軽トラックが逆走してきた。急ブレーキをかけたが間に合わず、当該車両前面中央部と相手車両前面中央部が正面衝突した。衝撃で、頸椎・肩・腕・脚がむち打ちになった。	55	40301	30 ~ 49

2	7~8	通勤中に高速道路を通行中、渋滞していた為、停止しようとしたら前方不注意のトラックに追突された。	63	170201	10 ~ 29
2	7~8	通勤中に高速道路を通行中、渋滞していた為、停止しようとしたら前方不注意のトラックに追突された。	67	170201	10 ~ 29
2	7~8	通勤中に高速道路を通行中、渋滞していた為、停止しようとしたら前方不注意のトラックに追突された。	62	170201	10 ~ 29
2	7~8	通勤中に高速道路を通行中、渋滞していた為、停止しようとしたら前方不注意のトラックに追突された。	60	170201	10 ~ 29
3	6~7	走行中、圧雪で25tトレーラーがスリップしてセンターラインをオーバーし、反対車線を走行していた大型トラックと正面衝突し、運転席が破損し負傷した。	32	40301	10 ~ 29
3	5~6	新聞配達中に交差点を横断しようとしたところ、左側から来た車にはねられた。	16	80205	100 ~ 299
3	1~2	業務走行中に脇見をし、信号待ちで停止中の車に気づかずに追突した。その反動で対向車線の停止車両にも衝突し、さらにその横に停止していたオートバイクが驚いて転倒する事故となった。当人は右足等の骨折を負った。	43	40301	30 ~ 49
3	5~6	ポリエチレン製品を4tトラックにて、運搬作業中、交差点にて信号待ちで青になったため右折し直進走行中、二つ目の交差点で進行方向左側からの走行車両と衝突し負傷した。	68	40301	1~ 9
3	15~16	一般道を走行中、縁石に左フロントタイヤを乗り上げバーストし、車は制御不能の状態です。10 t トラックが民家へ衝突した。助手席に乗っていたた	41	40301	50 ~

		め、フロントガラスが左手肘から手首に飛び、救急車で搬送された。			99
3	4~5	4t車で走行中、前を走行するトレーラーが急に対向車線にはみ出して進路変更をしたところ、前方に真横になっている乗用車があった。急ブレーキをかけたが、橋の上で路面が凍結していたため、スリップして止まりきれず衝突した後、対向車線にはみ出して側壁に衝突し、その衝撃で怪我をした。	40	40301	100 ~ 299
3	6~7	現場に向かうためにダンプを運転して一般道を走行中、前日の雨で荷台に水が溜まっていたので水を流すためにダンプUPした後そのまま走行してしまい、情報板に激突して腰部と胸部を負傷した。	47	40301	1~ 9
3	8~9	従業員が運転するトラックで会社から作業現場に向かって移動中、トラック車体右側が中央分離壁に激突して交通事故を起こした。その際、助手席に同乗していた従業員がフロントガラスから投げ出されて重傷を負った。	26	30199	30 ~ 49
3	8~9	従業員が運転するトラックで会社から作業現場に向かって移動中、トラック車体右側中央分離壁に激突して交通事故を起こした。その際、助手席に同乗していた従業員がフロントガラスから投げ出されて重傷を負った。	32	30203	30 ~ 49
3	11~12	道路清掃作業中、駐車中のミキサー車横で作業していたところ、ミキサー車が動き出し、右足親指をひかれ骨折した。	56	150109	10 ~ 29
3	1~2	産業道路の交差点に近づいていた所、わき見をしてしまい、赤信号で停車中の車両に、ブレーキを踏んだものの間に合わず、後方から追突された。オフセット衝突で前方の車両は交差点に押し出され、自車の前方部とハンドルに全身を激しく打ちつけられ、左第4指末節骨骨折、左第2趾基節骨骨折、左第1趾末節骨骨折、両側肋骨骨折を負った。	46	40301	30 ~ 49
3	14~15	道路上にて運転業務中、渋滞していた前方車に追突し、腰椎捻挫・頸椎捻挫・足首捻挫を負った。	47	40301	1~ 9
3	10~11	IC付近高速道路走行中、渋滞最後尾にて低速走行に4tトラックに追突された。	55	40301	10 ~

					29
3	10~11	高速道路にて渋滞待ちをしていたところ、後方から4tトラックが衝突し、シートに頭を強打した。	55	170101	100 ~ 299
3	16~17	自車大型トレーラーに乗車し直進走行中、相手車が反対車線から向かってきた大型トラックが交差点を右折したところ、同車線の右折車線の車が死角となり、交差点内にて衝突した。	25	40301	50 ~ 99
3	0~1	中央道下り線の走行車線（左側）を走行していた。前方において大型トラック2台が追突し、積み荷のペットボトルが散乱するという事故があり、後続車がハザードを点灯していたが、夜間で気付くのが遅れてしまい、ブレーキをかけ65km程度まで減速したが止まり切れずに、追い越し車線と走行車線をまたいで停車していた大型トラックに運転席側からぶつかる形で追突した。運転席の脇をかする形で追突したため、エアバッグが開かずにケガを負った。	55	40301	1~ 9
3	11~12	本人が社有車で目的地方面へ向かって走行していたところ、渋滞の最後尾になった。ハザードで後続車へ知らせていたが、後からトラックが減速せず追突してきて、玉突事故に巻き込まれた。救急搬送されるも意識はあり、大きな外傷は負っておらず、左脚大腿部や後頭部に少し痛みを感じる状態であった。	39	11209	100 ~ 299
3	6~7	材料を運搬中、10m下の河川にガードレールを突き破って落下した。	52	80109	1~ 9
3	5~6	配送を終え帰社する移動中、カーブにて前方路肩に停車しているトラックに追突し負傷した（慢性硬膜下血腫）。	45	40301	50 ~ 99
3	14~15	移動のため、収集車（4tトラック）を運転中、信号を北に抜けようと、最後尾にて信号待ちの停車をしていたところ、後ろから軽トラックに追突された。ブレーキ痕が無く、ほとんどノーブレーキといえるスピードで追突されたためか、衝撃で体が強く揺すられた。	41	150102	30 ~ 49

3	5~6	交差点でトラックを運転中、前方で信号待ちをしていた大型トラックに気付くのが遅れ追突した。	47	40309	100 ~ 299
3	18~19	配達が終わりに、軽貨物車で会社に戻る途中、高速道路の降り口で10tトラックに衝突した。	44	80109	30 ~ 49
3	4~5	手間1.6km付近の路側帯に停車していたところ、タンクローリーに追突された。	47	40301	30 ~ 49
3	4~5	商品配達業務に従事中、目的地に北進中、出口通過して数百m付近で右ハンドルを切り過ぎ、運転ミスのため中央分離帯に激突して横転し、右足を骨折した。	21	40301	30 ~ 49
3	5~6	交差点赤信号で止まっていた4t車に追突し、さらに4t車が前の大型車に追突し、弊社2t車を運転していた（51才）死亡した。	51	40301	10 ~ 29
3	21~22	走行中、先行事故（酒気帯び事故）により停車していた車両が、避難措置を取らず、また停止表示器材の設置をすることもなく無灯火の状態で行車線上を斜めに停車していたため、回避措置が遅れ、相手方車両の左前部に衝突し、その反動で中央分離帯の側壁に衝突した。	71	40201	100 ~ 299
3	15~16	同僚を駅まで送るため、同僚を助手席に乗せ社用車にて走行中、右カーブにさしかかったときに対向車線の大型トレーラーの荷台から、積み荷である大型クレーン用の重り（約4t）が落下して運転席を直撃し、頭部を強打した。現場は片側1車線のカーブで、積み荷を固定するワイヤーが切れていた。	50	11409	100 ~ 299
3	15~16	社での業務を終え、同僚の運転する社用車の助手席に同乗して目的地に向かう途中の右カーブにさしかかったところ、対向車線の大型トレーラーの荷台から積み荷である大型クレーン用の重り（約4t）が落下し、運転席を	60	11409	100 ~ 299

		直撃し、助手席に座っていた被災者も腰部を強打した。			
3	18~19	運搬業務終了後、事務所に戻る途中、交差点に差し掛かった際に信号が黄色となったので停車するためブレーキをかけたが、雨天のため路面状況が悪く、スリップしてしまい、運転席が側壁に衝突し、負傷した。	23	40301	30 ~ 49
3	10~11	合流しようとして停止車線で一旦停止した際、後方から来た相手方に追突された。	47	40301	100 ~ 299
3	10~11	業務が終了し、原付バイクにて帰宅中、渋滞していた車列の間から飛び出し、北進してきた軽トラックと衝突する。	18	170201	50 ~ 99
3	0~1	交通誘導警備に従事していたところ、前方確認を怠った軽トラックに衝突され、左足関節開放骨折及び脾臓損傷を負い救急搬送された。	37	170201	50 ~ 99
3	15~16	新築現場より本社へ移動するため運転していた時、大型トラックに追突され、頭を強く打ち、搬送先の病院で死亡した。	45	30202	1~ 9
3	15~16	小型タンクローリー車（3t）にて重油の配送中、車両が半横転し、被災者は助手席にいて掴まるものがなかったため、頭部や全身を強打した。	53	170101	100 ~ 299
3	16~17	配送先から次の配送先へ行く途中、道路を直進して交差点を通過後、考え事をしていたため、反対車線沿いに植えてあった街路樹に衝突し、横転して意識を失った。	55	40301	10 ~ 29
4	3~4	大型トラックにて走行中、片側1車線（中央分離帯なし）の直線道路にて、センターラインを越え上り車線に進入した際、対向車線（上り）を走行していたダンプカーと正面衝突した。その際に全身を強く打ち、心肺停止の状態での救急搬送されたが、病院にて死亡が確認された。	43	40301	10 ~ 29
4	3~4	自社にて点呼を終了し、積地へ向かうべく出庫したあと、対向車がセンターラインを越えて自車の方に向かって来たため、避けようと左側にハン	30	40301	100 ~

		ドルを切るも、ガードレール等に阻まれ、正面衝突となった。			299
4	12～ 13	大型ダンプ（12t車）に砂利を積み納品のため走行中、足元に小物を落としてしまい、それを拾おうと一瞬目をそらしたときにセンターラインをオーバーし、対向車の大型自動車に激突した。	47	40301	1～ 9
4	11～ 12	引越業務のため、お客様の引越先へ向かうため道路を走行中、居眠り運転のため、赤信号で停車中の前車両へ追突し、背中と腰を打った。	32	40301	1～ 9
4	20～ 21	原付バイクで配達中、二段階右折禁止の三車線ある交差点を右折する為、標識を見落として誤って二段階右折をしようとし道路左端に停車した際、後ろから来た大型トラックに追突した。	36	170209	100 ～ 299
4	13～ 14	積み込み配達の為、配達先へと向かう途中で居眠り運転をしてしまい、停車中の車両後方部に追突させ、右膝打撲を負った。	42	40301	100 ～ 299
4	13～ 14	被災労働者の運転するバイクがウインカーを出しながら反対車線を横断しようとして右折したところ、直進車線で反対から進行してきた軽トラックに衝突した。	25	130201	10 ～ 29
4	1～2	軽自動車のピックアップトラック（後部が平ボディ）を陸送中、頂上からの下りの区間でアクセルも踏んでいない状態で突如としてエンジンの回転が最大にまで上昇し、ブレーキを踏み放しでエンジンブレーキも併用したが止まらず、雨でスリップして遂には側壁へ激突した。	64	40301	10 ～ 29
4	12～ 13	弊社トラック運転中、前方を走行中のショベルカーに追突した。トラック運転中の弊社社員が重傷を負い救急搬送され、ショベルカー運転者は無傷であった。	26	80101	1～ 9
4	14～ 15	走行中（トレーラー、積荷あり）、カーブで右側に横転した。	55	11209	30 ～ 49
	10～	建設発生土を積載したトラックが側道に入り、処分場に向かって運搬中、山道に入ったところ前日の雨により砂利道の一部が軟弱な地盤となってお			1～

4	11	り、トラックが左により過ぎたこともありハンドルが取られ、フロントタイヤは脱輪、トラックは左に傾き横転し、運転手は手足を負傷及び脳内出血した。	80	40301	9
4	15～ 16	お茶を回収するため社有車を運転していたところ、わき見をしてしまい誤って電信柱に突っ込んでしまった。	28	10109	10 ～ 29
4	14～ 15	取引先の工場前にて3tトラックから金型の荷卸し作業を行っていた。運転手が荷卸し後バックを始めた際に、被災者はしゃがんで製品の検品をしていた。運転手は被災者が死角になっていた為気付かずバックをし、左後輪で被災者を巻き込んだ。	34	11502	300 ～ 499
4	14～ 15	顧客先への納品のため道路を西進（内側車線）中、交差点の信号が赤に変わり停止直後に追突され、左側のガードレールまで押し出され負傷した。	74	80102	50 ～ 99
4	14～ 15	鉄道高架下をトラックで通過しようとしたときに、高さ制限の注意を怠り進入したためトラックの荷台部分が制限バーに当たって損壊し、その衝撃で背骨を骨折した。	23	40301	—
4	14～ 15	業務で社有車による移動中、信号待ちで停車している時に、わき見・居眠り運転のトラックに追突された。	36	150101	100 ～ 299
4	0～1	高速道路下りを走行中に、50km付近にて道路工事による渋滞車両が停止していたところ、前方不注意のため追突事故を起こし、当方も全身打撲となった。	52	40301	30 ～ 49
4	1～2	自動車道で工事渋滞中に停車していた所、居眠り運転の大型トラックに追突され横転し、頸椎捻挫を負った。	41	40301	50 ～ 99
4	16～ 17	交差点で信号待ちで停車中に後方から追突された。	47	40301	10 ～

						29
4	11~ 12	既定便を終え、帰庫のため走行車線を回送中、渋滞により前車が減速したので自車も続いて減速したところ、追い越し車線から相手方車両が走行車線側に切れ込み、自車右後方部分に衝突し、頸椎等を負傷した。	48	40301		50 ~ 99
4	16~ 17	高速教習中、時速60kmで第一車線を進行していたところ、後方から大型貨物が高速で接近して、そのまま減速することなく（ノーブレーキ）追突された。教習車はトラックに接触したまま前方に押し出され、中央分離帯のガードロープに衝突したのち、左前方に投げ出されて停車した。教習車はこの衝撃でエアバッグが作動し運転者（教習生）及び助手席（指導員）、後部同乗者（教習生）がそれぞれ負傷した。	35	120109		30 ~ 49
4	16~ 17	自社工場から作業現場へ向かうため2トン車で走行中、運転操作を誤り、道路右側のガードレールを突き破り、約7メートル下の崖下に転落し、全身打撲、頸椎捻挫を負った。	55	30309		10 ~ 29
4	14~ 15	工場へ空缶を運搬中、交差点で信号待ちの大型ダンプカーに追突し、軽トラック前方及び側面を損壊した。損壊したフロントガラス、ハンドル等で頭部顔面、胸部等強打した。	51	150102		1~ 9
4	8~9	走行中、対向車（4tユニック車）が中央線をはみ出して走行して来たので、クラクションを鳴らし、減速したが避けきれず、運転席側同士が正面衝突し、右手首打撲及び首鞭打ちを負った。	43	40301		30 ~ 49
4	8~9	交差点先で、本社資材倉庫よりユニック車で資材搬送中、一時的に低血圧により意識を失ったと思われ、反対車線にはみ出し、停車中のトラックに衝突した。	68	30106		30 ~ 49
4	1~2	市場にじゃがいもを納品する為、じゃがいもをコンテナに詰めて10tトラックを運転していた、休憩を取る為にサービスエリアに向かって車を進めた。サービスエリアに入る道路が左カーブ（ほぼ直角に等しい）の下り坂になっていた為、そこへさしかかった時、縁石に乗り上げ、車がバランスをくずし、右側に横転した。	66	80109		1~ 9

5	2～3	走行車線を走行中、前方を走っていたトラック（2tか4t）がブレーキを踏み走行速度を落としたため、追い越し車線に移動し追越したところ、その先で事故を起こして横転していた4tトラックに衝突した。	42	40301	10 ～ 29
5	2～3	走行車線を走行中、前方を走っていたトラック（2tか4t）がブレーキを踏み走行速度を落としたため、追い越し車線に移動し追越したところ、その先で事故を起こして横転していた4tトラックに衝突した。	38	40301	10 ～ 29
5	11～ 12	車線のない狭い道路で帰社途中、車で移動時に対向車を避けようとして田に落ちそうになり、慌てて右にハンドルを切り過ぎ、戻そうとしたら、運転していた車が横転してしまった。	58	150103	10 ～ 29
5	15～ 16	荷物配送先からトラックを運転して帰社途中、信号で信号待ちをしていた大型トラックに、よそ見をしていて追突し、左脚等を強打した。	63	40301	10 ～ 29
5	6～7	乗務前点呼終了後、積み込み地に向けて、車庫を出発した。下り車線で脇見運転をした為、前面の路肩においてあるブロックゲートを避けきれず（コンクリート製）に乗り上げ衝突した。	56	40301	10 ～ 29
5	15～ 16	高速道路において、現場から事務所に戻る運転中、前車が急ブレーキを掛けたため、こちらも急ブレーキを掛けたが間に合わず追突し、胸部を強く打ち、全身（首と胸部中心）に強い痛み、車両は全損廃車となった。	21	170209	30 ～ 49
5	20～ 21	作業現場にトラックを停めるためトラックの後ろで後退を誘導中、縁石に接触する為に停止するよう声を発したが停止せず、トラックと縁石の間に左足を挟まれ、左足膝下を骨折した。	38	150102	100 ～ 299
5	9～ 10	配達走行中、対向車が自車の10m横前方から、センターラインをはみ出し突っ込んで来て、正面衝突した。その際に、運転席に体を挟まれ負傷した。	52	40301	30 ～ 49
5	20～ 21	4t車両にて走行中、駐車車両がいた為減速し、停車する寸前に後方を走行中の相手車両が追突してきた。	54	40301	50 ～ 99

5	14～ 15	トレーラー車28tを運転し、現場で積荷をおろし、次の現場に積荷（鋼材）を取りに高速道路で向かっている途中、分岐点で向かう方向を一瞬迷い、ハンドル操作を誤り、分岐点の間に立つ柱に正面衝突をした。その際に、左手および顔面等全身を強打し負傷した。	57	40301	1～ 9
5	7～8	住宅街の信号の無い交差点を直進中（トラックで配送している途中）、左から来た車両と衝突し、右上腕他を負傷した。	49	80109	100 ～ 299
5	16～ 17	路肩で、規制標識の解除終了後、規制車に乗り込み、シートベルトを着用する前に大型車両（キャリアカー）が右後方に追突した。その際に約5m下の車道に規制車ごと転落し、車は大破し、乗車していた3名が負傷した。	40	30106	10 ～ 29
5	2～3	道路下り線を走行中に前を走るトレーラーに追突した。その反動で自車が横転し、後続車輛の大型トラックとトレーラーが横転した状態の自車に衝突した。	52	40301	30 ～ 49
5	17～ 18	下り線をトラック（積載量12300kg）にて走行中、前方の渋滞に気づきブレーキを踏んだがスリップし、前方車に追突した衝撃により、車内で右膝を強打し負傷した。	39	40301	100 ～ 299
5	13～ 14	中央分離帯のある交差点を右折信号の点灯後に右折し、右折後すぐにある信号も青であったため交差点に進出したところ、左側（対向車）から来た車両が自車両左前方に衝突し、両車両が大破した。	52	40301	10 ～ 29
5	15～ 16	通勤路（帰路）の緩やかなカーブにて、10tダンプカーと乗用車が正面衝突した。その際、乗用車の後部座席に乗っており、シートベルトをしていなかった。	31	30201	1～ 9
5	15～ 16	事故現場である通勤路（帰路）の緩やかなカーブにて、10tダンプカーと乗用車が正面衝突した。その際、乗用車の後部座席に乗っていた。	22	30201	1～ 9
5	11～ 12	渋滞のため停車中に、事故を起こしたトラックが時速60kmノブレーキで自車の後続車に追突し、その勢いで後続車が自車に追突し、玉突き事故と	24	40201	100 ～

		なった。			299
5	13～ 14	当社社員が二輪で見通しの悪い下り坂カーブを走行中、対向車線を曲がって来た10tダンプカーの右側面に衝突し、転倒して負傷したものである。被災労働者本人によれば、相手方がセンターラインより内側に切れ込んで来て避けられなかったとのことである。	43	110101	300 ～ 499
5	14～ 15	積み込みに行く時、追越の際に雨が降っていて、路面が滑りやすくなっていたのでスリップし、道路の中央分離帯にぶつかった。	33	40301	30 ～ 49
5	11～ 12	タイヤ店で修理をしてもらった後、会社へ帰る途中に店に携帯を忘れた事に気付いた。タイヤ店の道を挟んだ向かいに車を止め、携帯を取りに行き、車に戻る途中に右横から速度を落とさず走ってきた2t冷凍車にはね飛ばされた。	25	40301	10 ～ 29
5	8～9	利用者宅から利用者宅へ原付バイクで移動中、交差点で青信号を右折しようとした時、右方向から来た4tトラックの信号無視により衝突し、意識不明で救急搬送され、左鎖骨、肋骨、鼻骨を骨折し、肺挫傷、肝損傷を負った。	36	130201	10 ～ 29
5	8～9	10tダンプ搬出時に、搬出口右側の誘導員が後方の自転車を確認し「ストップ」と声を掛けながら、10tダンプ正面右前輪側へと接近した。10tダンプ運転手は窓を開けていたが、その誘導員の声と存在に気付かずに前進し、10tダンプ正面右前輪が誘導員の右足に乗り上げた。	32	30209	30 ～ 49
5	16～ 17	10tダンプで荷物を下ろし、帰社途中のカーブで対向車線のガードレールを突き破り2m位下の田んぼに落ち、首と腰を打撲した。	50	20202	10 ～ 29
6	14～ 15	片側交互通行工事現場にて、前方不注意により、工事車両に追突した。そのため左手甲の腱が切れ、病院で7針縫合した。	48	40301	50 ～ 99
		スクラップを積み出発した。交差点において赤信号で停止し、青信号で動			10

6	3~4	き始めたところに追突された。	42	40301	~ 29
6	11~ 12	砂を運搬していて走行中、左側の物を取ろうとした際、ハンドル操作を誤り、反対側法面に転落し被災した。	51	40309	100 ~ 299
6	12~ 13	普通トラックで走行中に、前のダンプに追突し、右手小指を負傷した。	51	40301	30 ~ 49
6	6~7	取引先の工場へ荷物を配送して、その帰りの事故である。大型トラックを運転中、道路が右カーブに差し掛かった時、オーディオの操作をしていて、目線を下に落とした際に、街路灯に衝突し、縁石に左前タイヤを乗り上げた。その時の衝撃でシートベルトが締まり、むちうち状態になり、首・左肩・左足に痛みが発生した。	49	40301	50 ~ 99
6	12~ 13	他事業所へ荷物の運搬後、帰社中、信号待ちをしていたところ、3台後ろの後続車両が追突した。そのまま玉突きで車両後部に接触した。病院にて、頸椎捻挫とのことで1週間安静との診断を受ける。	34	30309	50 ~ 99
6	9~ 10	被災者は清掃工場へ燃やすごみを搬入後、次の集積所へ行く為、清掃車を運転していた。交差点で信号待ちをしていたところ、後ろから大型ダンプに追突された。追突の衝撃で首を負傷したため、救急搬送された。	51	150103	100 ~ 299
6	9~ 10	被災者は燃やすごみ収集作業のため、清掃車左側座席に乗車していた。清掃工場へごみを搬入後、次の集積所に行く途中、交差点で運転手が車を停車させ、信号待ちをしていたところ、後ろから大型ダンプに追突された。追突の衝撃で首を負傷したため、救急搬送された。	46	150103	100 ~ 299
6	9~ 10	被災者は燃やすごみ収集作業のため、清掃車中央座席に乗車していた。清掃工場へごみを搬入後、次の集積所に行く途中、交差点で運転手が車を停車させ、信号待ちをしていたところ、後ろから大型ダンプに追突された。追突の衝撃で首と唇を負傷したため、救急搬送された。	45	150103	100 ~ 299

6	11~ 12	<p>高速道路上り線出口から500m先において、配送中に、前を走行していた車が追越車線上で急に減速停止し、隣に避けるため左車線側にハンドルを切ったところ、直前に事故があったために、その際の破片が散らばっており、破片を避けるうちに車体が少しずつ小刻みに振られた。その後、荷台後部から大きく2、3回振られ、車体をコントロールできず、中央分離壁にぶつかり、反動で路肩側壁面にぶつかって停止した。路肩側壁面にぶつかった際に、胸骨を骨折してしまった。</p>	65	80109	10 ~ 29
6	13~ 14	<p>2tトラックを使用し、事務所の移転作業をしていた。事務所の裏手から荷物を搬入し、トラックが発車した。現場前の道路を左折するため一時停止した時に、トラック後部の荷台搬入口の扉の閉め忘れに気づき、扉を閉めようとトラック後方の扉の取っ手に手をかけた。しかし、運転手はそのことに気づかず、トラックが動きだした。動き出したトラックの取っ手から手が離れず、トラックの後ろを走り、転倒した。</p>	52	80205	10 ~ 29
6	11~ 12	<p>現場から本社事務所へ戻る途中、車両運転中の信号待ちで、前方不注意により、前の車両に追突し、両足を受傷した。</p>	47	11609	10 ~ 29
6	13~ 14	<p>当社出先にて勤務中、昼食用の弁当容器を回収して、配送用の軽自動車に戻る時、付近の路上にて、右折のため自車を停車中、後方から走行してきた相手方トラックに追突され、右肩付近を負傷した。過失割合は、10:0（相手方：当方）である。</p>	66	80209	30 ~ 49
6	11~ 12	<p>走行中、被災地の場所に差し掛かった時、トレーラの台台車がぶれ出し、ジャックナイフ状態になり、右前方のトンネル側壁に激突し、はずみで左側壁に衝突し停止した。その時、頸椎・胸椎・腰椎・その他を捻挫・打撲・骨折の負傷をしたものである。</p>	30	40301	30 ~ 49
6	3~4	<p>トレーラー運転中、中央分離帯のガードレールに接触しながら突き破り、対向車線に飛び出し横転する。（転覆）詳細については、現在調査中につき不明である。</p>	43	40301	10 ~ 29
		<p>ミニダンプカーを運転して、ごみの収集場所に向かう途中、信号待ちで停</p>			50

6	10～ 11	車していたところ、後方車両に当方車両の後部に追突され、負傷したものである。	49	150103	～ 99
6	2～3	配送勤務を終え、会社の所定の駐車場に車両を止め、バイクに乗り替えて、勤務先の事務所へ戻る途中、夜間で雨が非常に強くなり視界が悪く、進行方向前方にトラックが駐車していることに気付くのが遅れ、トラック後部に衝突し負傷した。	57	40302	100 ～ 299
6	2～3	料金所を通過した後、右側に寄りながら走行中、右後方を確認し、前方に視線を戻したところ、前方にガードレールがあり避け切れず追突した。 (単独事故)	36	40301	10 ～ 29
6	14～ 15	高速道路で渋滞が発生し、前方の車両から順次停車を行ったところ、大型車両が後方の車両に追突して多重追突事故となり、首と背中と腰を負傷した。	47	40301	50 ～ 99
6	8～9	会社所有の軽トラックで、道路除草作業の箇所範囲を確認して集合場所に帰る途中、一時停止して右折しようとしていたところ、後ろから2tトラックに追突され、首と腰を強打した。	30	30106	1～ 9
6	3～4	高速道路走行中、事故を起こし（現在詳細確認中）、トラックから降りて相手方の怪我の有無を確認し、二次災害防止処置等を行っていたところ、後続の大型車両に撥ねられた。	52	40301	30 ～ 49
6	14～ 15	被災者は被災当日、自動二輪車で配達をしていたところ、信号機のない交差点を通過しようと、止まれの表示があったので、一旦停止をし右左を確認したところ、左側からトラックが進行しているのに気付いたが（確認距離は不明）、行ける判断し進行したところ、左側から直進してきたトラックと衝突し、負傷したものである。その後、被災者は救急車により病院に搬送された。	57	110101	50 ～ 99
6	7～8	現場へ2tダンプで行く途中、雨が降って地面が濡れていたためか、緩いカーブでブレーキを掛けた時、反対側の歩道の縁石にぶつかり、その勢いでハンドルを切り、逆側の石垣にぶつかり止まった車は破損し、運転手が	38	30201	1～ 9

		首から肩にかけ負傷した。			
6	13~ 14	県道をWピック（普通トラック）で運転中、雨が降って路面が濡れ、下り坂にて左カーブ手前でスリップし、左側路側に接触して右側の雑木林に突っ込み、胸椎破裂骨折をした。リース会社から現場へ帰る途中に、発生した。	61	30301	30 ~ 49
6	10~ 11	被災職員は、ごみの収集運搬業務に従事しており、被災当日は午前中の2回目を収集するため、市道にて清掃車を運転中、ハンドル等が制御不能となり、民有地の擁壁に衝突後、道路右側のガードレールに衝突して、横転したことから、頸椎等を負傷した。	59	150101	100 ~ 299
6	10~ 11	被災職員は、ごみの運搬業務に従事しており、被災当日は午前中の2回目を収集するため市道を走行中の清掃車に乗車していたところ、運転手からハンドル等が制御不能となった旨の申し出があり、民有地の擁壁に衝突後、道路右側のガードレールに衝突し、横転したことから、左眼瞼等を負傷した。	34	150101	100 ~ 299
7	4~5	積込した製品を工場へ配送中に助手席で休んでいたところ、自車が前方停車中の車両に追突した。	40	40301	10 ~ 29
7	23~24	大型トラックを運転して時速80キロメートル程で荷物を搬送中、走行車線から追越車線に進路変更をしたところ、その10分程前に起きた普通乗用車（A）との追突事故で横転していた軽乗用車（B）に衝突した。その後、中央分離帯のガードレールに衝突しながら走行した後停止したが、ガードレールに衝突した際にキャビンが変形して下半身が挟まれ負傷した。	56	40301	30 ~ 49
7	10~11	幅約3mの町道上で路肩の除草作業を行っている時に、刈った草を集め、ダンプトラックに積み込もうとして、停止していた2tダンプトラックが合図により後退しようとした時、約1m後方の路肩にいた被災者が、そばにいた作業員に話しかけながらダンプトラックに対して後向きで道路を横切ろうとして、後退し始めたダンプトラックと接触し、気づいた運転手が停車したが、倒れた被災者はダンプトラック下部分に挟まれ圧迫された後、	59	30309	1~ 9

		助け出された。			
7	11~12	トンネル内で走行中、脇見運転してしまいセンターラインをはみ出し対向車と正面衝突した。	21	80202	1~9
7	15~16	インターの間で、処分場から現場へ戻る途中、前方から鳥が飛んできて避けようとハンドル操作を誤り、追越車線側のコンクリート壁にぶつかった。	20	30309	10~29
7	11~12	被災者は、同従業員の運転するトラックで下り坂を助手席に乗り配送中、車が雨で濡れた道路で誤ってスリップし、左側のガードレールに接触、その反動で斜め右方向の土の法面に乗り上げ横転、首、肩、背中、腰等を打ち付け打撲した。	21	40301	10~29
7	3~4	配達先に大型トラックで向っている途中、高速でエンジントラブルを起こし、ガードレールにぶつかり、全身を打って負傷した。	69	40301	10~29
7	7~8	廃棄物契約先よりゴミを回収し、それを両手に持ち、パッカー車に戻る際、急いでいたため、左右を確認せず車道に降りたところ、進行してきた車両が漫然と運転していたため、発見が遅れ衝突転倒した。	36	150103	100~299
7	4~5	走行中、前方の車列が赤信号で停止していたので、速度を落として停止しようとした際、急に後ろからトラックに追突された。	35	40301	30~49
7	12~13	コースのバンカー砂上げ作業をスコップで行っていた。10番ホールFWバンカー内の砂上げ作業中に腕や首に痛みが生じた。	46	40301	50~99
7	0~1	配達に向かう時、右車線走行中、居眠り運転してしまい、右側の壁に衝突したため、トラックのエアバックが出て、骨折、右腕打撲した。	41	40301	10~29
7	17~18	社命により参加し、オートバイ（250cc）にて帰宅途中、道路上において、直進していた処、前方左から急にトラックが飛び出してきた。その	31	40301	50~

		際、トラックの荷台にぶつかり、体が当該トラック荷台に飛び込み、右膝、右脹脛、全身を荷台地面に打ち、負傷したものである。			99
7	9~10	ダンプトラックで砂運搬中、片側交互通行停車中、後方から追突事故に、巻き込まれた。	65	40302	1~ 9
7	9~10	利用者宅において、サービスを終了し退出しようとした際に裏口の段差を降りようとしたところ、バランスを崩し転倒しそうになり、その際に左ひざを置いてあったブロックに強打し負傷したものである。	49	40301	1~ 9
7	10~11	ミニダンプカーを運転して、ごみの収集場所に向かう途中、信号待ちで停車していたところ、前方の相手車両が後退してきて、当方車両の前部に追突され負傷したものの。	49	150103	50 ~ 99
7	2~3	19.8KP付近走行側を規制マニュアル通りに規制作業していたところに中型貨物自動車（4t）（道路一般利用者）が、規制作業にかなりのスピードで追突し規制車（4t車）が大破し、はずみで規制車の斜め前方で監視していた被災労働者に突っ込み、規制車（4t車）と高速道路側壁に挟まれ、被災労働者の下腹部を直撃した。	53	30301	1~ 9
7	1~2	高速道路上（走行側）で設備点検のため保安設備の設置中に規制標識車（4t）に一般通行車両の4tトラックが追突し作業員に直撃した。	54	30301	1~ 9
7	1~2	19.8KP走行車線において、設備機器点検実施に伴う、規制設置中に貨物車（2.75t）が追突して巻き込まれた。	54	170201	10 ~ 29
7	1~2	19.8KP走行車線において、設備機器点検実施に伴う、規制設置中に貨物車（2.75t）が追突して巻き込まれた。	40	170201	10 ~ 29
7	14~15	大型トラックを運転中、自動車道上り線のトンネルとトンネルの間で渋滞にて停車中に後部の大型車両に追突された。首、背中が痛かった。	43	40301	10 ~ 29
		走行中、前方にて事故が発生し、停車中の車A、Bを回避しようとしたが間			100

7	1~2	に合わずBに追突したはずみで左側道のガードフェンスに衝突し、胸部を強打したものの。	44	40301	~ 299
7	10~11	4トントラックで鉄工所へ鋼材を納品した後本社へ戻る途中、出口付近に於いて、赤信号で停車していたところ、軽自動車から追突され、頸部及び腰部を負傷した。	62	40302	30 ~ 49
7	13~14	5号車で収集業務中、信号の無い交差点で車と衝突し、首を痛めた。	45	150102	30 ~ 49
7	6~7	弊社の倉庫から入船の現場へ3トンダンプで移動中、ガードレールに左前方を激突し、約10メートル車体を擦って停車した。運転手は怪我をしていないが、助手席同乗者は左足を負傷し、左足を固定するための手術を受けた。原因は、運転手が右手でホルダーからペットボトルを取ろうとし、一瞬、脇見をしたことによるものである。	51	30106	50 ~ 99
7	14~15	時速40kgで走行中、脇見運転により赤信号で停車中の乗用車、トラックに気づくのが遅れた。真正面に停車していた乗用車をかわそうと乗用車の右側後部をかすめ、隣の車線の右前方に停車中の大型トラック左側後部に追突する交通事故を起こした。	59	40301	30 ~ 49
7	11~12	信号待ちのため停車中、小型トラックから追突された軽乗用車に追突された。	25	40301	100 ~ 299
7	8~9	4tユニック車で足場材を輸送中、途中で荷崩れしそうになったため、クレーンを使用して積み直し再出発した。クレーンのブームを収納し忘れていたため、道路標識の看板にブームが接触し、その衝撃で負傷した。	32	30302	30 ~ 49
7	8~9	4tユニック車で足場材を輸送中、途中で荷崩れしそうになったため、クレーンを使用して積み直し再出発した。クレーンのブームを収納し忘れていたため、道路標識の看板にブームが接触し、その衝撃で負傷した。なお、被災者は助手席に座っていた。	21	30302	30 ~ 49

7	5~6	1.5t自社トラックを運転中、バイクを降ろすために停車していた運搬貨物車に衝突し、負傷した。	70	80109	1~9
7	7~8	走行中、ハイドロプレーシング現象に由り、スリップ事故を起こし、その際に運転席の床奥側に右足親指を強打した。痛みが強くなり、内出血もしていたため病院に受診させたところ、打撲と内出血と診断された。	39	40301	50~99
7	11~12	住宅地の道路で配達作業をしている時に車両が自走しはじめたため、車両を止めようとして運転席に乗り込もうとしたが、それができずに道路脇のコンクリート壁と車両の間に挟まれてしまった。	33	40301	10~29
7	3~4	トラックの荷物を運搬するために走行中、対向車が急にセンターラインを越えて進入して来たので回避する間もなく衝突した。救急車で近くの病院に運ばれ応急処置をしてもらって帰ってきた。	63	40301	1~9
7	22~23	高速道路にて、自車両のエンジントラブルにより、路肩にハザードを出して停車し、三角灯を出そうと外にいたところ、相手車に追突された。	38	40301	10~29
7	14~15	工場にて積み込み後、配送先に向け運行を開始した。対向の2t車がセンターラインをはみ出し接近してきたため、クラクションによる注意喚起をし、ブレーキを掛けながら左側へ寄せたが、回避できず、正面衝突をした。	49	40301	10~29
7	17~18	道路を直進していたところ、右後方より当方右側面に追突された。	39	40301	50~99
7	14~15	野菜類を得意先へ納品するため、トラック（冷蔵庫）を運転走行していたところ、対向車と正面衝突をした。衝突の衝撃により、運転席に挟まれ右大腿骨及び左ふくらはぎを骨折し、右頬および右手には割れたフロントガラスが刺さった。	43	80109	50~99
7	15~16	2tトラックで会社に戻る途中、県道において、信号待ちで停車している車両に追突した際に負傷したものである。	21	40301	30~

					49
7	5~6	集荷場所に向かうため、片側二車線の道路を走行中、道路の段差により、ダッシュボードの上に置いてあった書類等の小物が車内に落ち、それを拾おうと手を伸ばし、視線を下に落としたため前方不注意となり、前方の車両の発見が遅れてしまい、ブレーキを踏んだが間に合わず、前方車両に追突した。その際、本人が急にブレーキを踏んだため、後方を走行中の車両にも追突された。	42	40301	50 ~ 99
7	4~5	高速道路上で車両が故障したため、発煙筒をつけようと車外に出たところ、後続の3tトラックが車両に追突され、追突された車両がドライバーに接触し、怪我を負った。	31	170101	300 ~ 499
7	13~ 14	停車しようとした際、後方から進行してきた車輛に追突され負傷した。	59	40201	100 ~ 299
7	23~ 24	積込後、何度か休憩をとりながら走行中、考え事をしていたため、交差点手前にて赤信号で停車していたトラックに追突した。	47	40301	10 ~ 29
7	5~6	配達が終わりに会社に戻る途中で、運転操作を誤り、中央分離帯に乗り上げ衝突し、全身を強打した。	30	40301	30 ~ 49
7	12~ 13	走行中、トラックが駐車場から飛び出し、走行していた当社車両（左側面）に衝突した。その反動で対向車線をはみ出し、電柱に衝突した。	66	140101	30 ~ 49
7	13~ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型トラックが運転手の操作ミスにより、作業用車両（ユニック車）に突っ込み、そのはずみでユニック車に撥ねられ負傷した。	45	30106	10 ~ 29
7	13~ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型トラックが運転手の操作ミスにより、作業用車両（ユニック車）	40	30106	10 ~

		に突っ込み、そのはずみでユニック車に撥ねられ負傷した。			29
7	13～ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型トラックが運転手の操作ミスにより、作業用車両（ユニック車）に突っ込み、そのはずみでユニック車に撥ねられ負傷した。	28	30106	10 ～ 29
7	13～ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型トラックが運転手の操作ミスにより、作業中の被災者に衝突し即死した。	47	30106	10 ～ 29
7	21～ 22	トラックにて運送中、交差点方面へ走行中、交差点手前の左折レーンに路に駐車車両があったため、右側に回避しようとしたとき、自車の助手席側と相手車両の運転席側後方が衝突し、首骨を負傷した。	48	40301	30 ～ 49
7	13～ 14	高速道路を走行中、出口付近で道路工事が行われており、ハンドル操作の誤りにより、工事区間のバリケードに衝突した。	47	40301	30 ～ 49
7	3～4	トラックに乗務し走行中、居眠りをしてしまい、左側側壁へ衝突し、その反動で中央分離帯へ乗り上げたあと、横転した。	51	40301	50 ～ 99
7	4～5	高速道路上で、運転するトラックが故障したため発煙筒を点けようと車外へ出たところ、当該故障車が、後から走行してきた3tトラックに追突され、押された当該故障車と接触して負傷した。	31	50101	30 ～ 49
7	6～7	車庫でコンテナシャーシを繋ぎ、車庫から道路に出る際に、1台が走り出し、そのトレーラーの後ろに続き走り出し、左折して道路へ出ようと頭を出したが、前方のトレーラーが停止して動かなくなったために停止した。窓から覗いてもなかなか動かず、何があるのか分からない状態で、降りて見に行こうと思ったときにバックしてきたので、何度もクラクションを鳴らし停止を促そうとしたが、後退し、コンテナシャーシとトレーラーヘッドが逆突した。	29	40301	10 ～ 29
		オープンキャンパスに参加した高校生13名と保護者1名の帰路を引率する			

7	17～ 18	ため、契約したバスに添乗していた際、エンジントラブルが生じ、高速道路の路肩に停車したところ、後方からトラックに追突され、ガードレールを突き破り、高さ7～8mの土手に転落した。その際に、額に切創、全身に打撲を負った。	59	120109	30 ～ 49
7	14～ 15	廃棄収集運搬後の帰社途中、交差点にて、信号待ちで停車している大型トラックに後方から追突した。	59	30209	10 ～ 29
7	8～9	荷物運搬の業務中、運転している途中に飲み物を取ろうとしたとき、車道から左側の草むらにタイヤが逸れてしまったため、ハンドルが操作しにくくなり、左側前にあったガードレールに衝突した。	22	40301	30 ～ 49
7	15～ 16	走行中、後方より追突され、救急車で搬送されたものである。	49	40301	100 ～ 299
7	6～7	インターチェンジを走行中、事故渋滞に気づかず、前方車両に追突した。	31	40301	30 ～ 49
7	4～5	交差点付近の緩やかな右カーブを走行中、運転席左横のボックスの上に置いていた運行表と手帳が左足元に落ちたので、拾おうとし運転をしながら左手を下に伸ばした。その際、トラックは左側標識に接触しながら縁石に乗り上げ、樹木に衝突し、約1m20cm下の畑に落ちた。このとき、トラックの前方が押し潰され、右脚を負傷した。	56	40301	100 ～ 299
9	14～ 15	市道で車輛を駐車場に入れようと右折しかけた時に、相手車輛が出てきており接触。その時、頭部を運転者が窓ガラスに打ちつけて、首を痛めたと思われる。	27	40301	10 ～ 29
9	19～ 20	配達を終え、帰社途中、一瞬気が緩んでしまい停車中のトラックに追突してしまい、右鎖骨および左足首を負傷したものである。	54	40301	10 ～ 29

9	16～ 17	被災者が、大型貨物自動車を運転し、国道を走行中、緩い右カーブにおいて、降雨により湿潤した路面にタイヤがスリップし、反対車線にはみ出しそうになり、左に急ハンドルを切ったところ、制御不能に陥り、そのままガードレールを破り、路外逸脱したものである。	30	150102	1～ 9
9	22～ 23	7tのバルク車を運転して飼料の配達後、運転席の脇に置いてあった伝票に気を取られてハンドル操作を誤った。縁石に乗り上げ、電柱にぶつかり停止して、救急車にて搬送された。	57	40301	10 ～ 29
9	7～8	資材置場から2t平トラックで足場材運搬時に、料金所手前のカーブで車がスリップし、車両右折部が壁面に衝突した。その際、助手席の資材運搬補助者（18歳）が負傷した。原因は、雨の為、車がスリップしたものである。	18	30209	1～ 9
9	16～ 17	商談を終え、原付バイクにて帰社中、本道である大通りの左側を走行していたら、クレーン車が追い越しをしてくて、幅寄せをしてきたため、接触事故となった。	53	170209	10 ～ 29
9	4～5	運転中に、物を拾おうとしてハンドル操作を誤り、ガードレールに衝突した。	33	40301	100 ～ 299
9	13～ 14	大型車で工場から工場にH形鋼を引き取りに行くときに、走行中入口で右折するため方向指示器を出して、対向車がいなくなるまで国道で1～2分待っている間に、後方から激突された。	44	11209	50 ～ 99
9	3～4	走行中トンネル内の緩い左カーブに差し掛かった際、車体が路面の段差にてバウンドその時何かが車内で転がり落ちた様に感じそちらの方に視線を移した際、前方への注意が散漫に成りセンターラインをまたいでしまい、対向車線に車体のはみ出し対向車線の大型トラックの運転席側と当方の運転席側が正面衝突した物である。	49	40301	30 ～ 49
9	10～ 11	一般道をトラック配送中、運転中に居眠り運転をしてしまい、トラックで民家の塀に衝突。民家の塀と植木を壊す交通事故を発生させた、その際、腰を打撲したものである。	48	40301	30 ～ 49

9	18～ 19	前のトラックが急ブレーキをかけた。自分が運転していたダンプも急ブレーキをかけたが間に合わず、前のトラック荷台に衝突し事故となった。	43	30209	10 ～ 29
9	9～ 10	交差点にて青信号進入時に、コンクリートミキサーと出合頭衝突事故。はね飛ばされた後、ガードレールに衝突。	76	80204	1～ 9
9	17～ 18	エリア内で直進中、進入路に差し掛かる際、左側のみ目視確認をただけで右側を見ずに走行してしまい、右側から走行していたトレーラーに全く気付く事なく、トレーラーの荷台の左側面に追突した。	45	40301	50 ～ 99
9	14～ 15	配送の為、道路上り線を時速76km/h程で走行中、前方不注意により工事渋滞中の車列に追突し、右手腕、右膝等を負傷した。追突した前方トラック運転手は左足や腹に打撲等あり、さらに前方のトラック3台の運転手は首打撲等の怪我あり。労働者は追突したときに右手関節捻挫及び右膝右下腿、右前腕挫創（右膝裏縫合あり）。	31	40301	10 ～ 29
9	9～ 10	職員がバス停標識を運搬するため、小型トラック（公用車）を運転し、営業所に向かっている途中、交差点南側の手前100mの2車線道路（高架道路出口）の第2通行帯で信号待ち停車中に、後方からきた中型トラックが追突した。その反動で、小型トラック（公用車）も前に停車していた軽乗用車に接触した。（玉突き事故）信号待ち停車中に後方から追突されたものであるため、防ぎようのない事故であったと考えられる。	61	40101	500 ～ 999
9	9～ 10	職員がバス停標識を運搬するため、小型トラック（公用車）に同乗し、営業所に向かっている途中、交差点南側の手前100mの2車線道路（高架道路出口）の第2通行帯で信号待ち停車中に、後方からきた中型トラックが追突した。その反動で、小型トラック（公用車）も前に停車していた軽乗用車に接触した。（玉突き事故）信号待ち停車中に後方から追突されたものであるため、防ぎようのない事故であったと考えられる。	64	40101	500 ～ 999
9	11～ 12	商品の配送を終わらせ、次の商品の積み込みのため走行中、手前でトレーラーに追突され、頸部および腰部を打撲したものである。	58	40301	10 ～

					29
9	14~ 15	トラックを回送中、トラックの荷台が空の状態だったのと、雨によりタイヤがすべりやすくなっていたため、右カーブを曲がった際に後ろが左に振られ、右にハンドルを切り、アクセルを踏んだまま反対車線の縁石に乗り上げ、標識を倒し、壁に激突し受傷した。	32	80409	1~ 9
9	16~ 17	業務が終了し、会社に戻る途中、乗っていた停車中の軽ワゴン車にトラックが追突してきた。むち打ちで全身に症状が現れたが、特に脊髄に損傷を引き起こし、手術することになった。	42	150101	1~ 9
9	1~2	第2走行車線を15tトラックで走行中、脇見により赤信号で止まろうとしていた、4tトラックに気付かず、20m手前でブレーキを踏んだが間に合わなかったため、ハンドルを右に切って回避しようとしたが、回避しきれず右後方へ追突、そのまま右前方の停車していた、4tトラックの右後方へ追突し、そのまま右側ガードレールにぶつかって停車した。衝撃により自社ボンネット部分は喪失、主に車体右前方に大きな力が加わったため、助手席は大破し運転席は変形した、変形により乗務員は胸・膝を強打した。	47	40301	100 ~ 299
9	14~ 15	廃棄処理の草を運搬中に前方停止直前の4tダンプに後方からの2tダンプが速度減速しないまま追突した、2tダンプに乗車（運転手）していた。	57	30199	1~ 9
9	5~6	時速83km/h程で走行中、左後方のタイヤがバーストしハンドルを取られ横転して右腕を裂傷した、本線上を塞いだ為、後続のトレーラーが中央分離帯に突入し、避けきれなかった2トントラックが横転した当方の車両へ追突した。労働者は横転したときに右前腕部に裂傷（縫合なし。破傷風予防接種のみ）2トントラック運転手は軽傷、トレーラー運転手は怪我はなし。	36	40301	10 ~ 29
9	17~ 18	工事現場での作業終了後、会社のトラックで帰社中にバイパスを走行中、センターラインを越えて、対向車と正面衝突し、死亡した。	66	30199	1~ 9
9	5~6	営業車の洗車をする時、バケツを持って水栓の所に移動中に、水栓の所の傾斜で足を滑らせ転倒し、負傷した。	56	80205	10 ~ 29

9	5~6	車道下り線で直進中、前方に横転したトラック（4t）とそれに追突した（2t）トラックが有り、前方車はライトも消えて、さらに運転席のドアも開いていたため、発見が遅れ（この時自車は下向きライトだった）追突をさけるため、とっさに右にハンドルを切り、よけようとしたが、右側のガードレールに接触、ガードレールをなぎたおして止まった、その時のショックで首をいためた。	48	40301	50 ~ 99
10	3~4	運転中、道路工事につき仮橋の左カーブにて、迂回の標識の発見が遅れ、カーブを曲がりきれず路外逸脱し車内にて体を強打した。	38	40301	30 ~ 49
10	13~ 14	双方一時停止の無い交差点で、左側から直進してきた2tトラックと衝突。衝突の弾みで自車は回転し民家の壁へ接触し停止。本人聞き取りでは怪我、体調に異変はないとの事だが、後日手の痺れが出て来た。	42	80209	100 ~ 299
10	10~ 11	配送中、外からトンネルに侵入して暗くなった時に自分の視点が合っていなかったために、前方の車に気づいたときには止まりきれなかったため、避けたが追突してしまった。	25	40301	50 ~ 99
10	17~ 18	配達先から勤務先に戻る時の交通事故。信号機の有る十字路交差点を、被災労働者の車両が青信号で直進したところ、対向から右折をしてきた相手車両と衝突した。	26	80109	1~ 9
10	18~ 19	台風による豪雨の中、軽自動車で宅配配送作業中、民家に囲まれた細い道路と豪雨での視界悪化があいまって、交差点に気付くことが出来ずに時速20kmで侵入し、右から来た軽バン車両に交差点内で追突を受けた。背中、腕、腰の打撲との診断となる。	41	170101	30 ~ 49
10	15~ 16	公道にて掃除作業中に、相手のトラックが後進し後方の不注意により、ブロック塀とトラックの間に挟まれ負傷した。相手は後方に誘導員を配置しておらず、気づいた時には、挟まれていた。カラーコーンは後進時に気づいていた。	68	30199	1~ 9
		配達先へ向けて車庫を出庫する。交差点を右折、営業所横の道路を200m			30

10	8～9	程走行し、信号の無い交差点に差し掛かったところ、進行方向左側の一時停止の有る道から乗用車が一時停止を無視して交差点に進入。当方トラック左側燃料タンク付近に衝突する。	44	40301	～ 49
10	15～ 16	相手が一時停止の十字路で原付でゆっくり直進していたが、急に軽トラックのとび出しで衝突。	62	170209	30 ～ 49
10	14～ 15	現場へ重機搬送中に、路肩が軟弱ではまってしまい、運搬車両が横転した。	71	30107	1～ 9
10	17～ 18	現場を終え、ダンプカーにユンボを乗せ帰社している道中、ゆるく左に曲がる道を走行していた際、重心が傾き右側に横転したもの。その際、右手掌及びひじをすりむいたもの。第3者や同乗者は無し。	26	30203	1～ 9
10	14～ 15	住宅用建材を現場に配送するため、2tトラックで運転中、河口から8.2km地点において、西から強風にあおられて、ハンドルを取られ、道路左脇の堤防斜面に外れてトラックが横転し、右肩と頸椎を負傷した。	20	10402	10 ～ 29
10	14～ 15	得意先へバイクで納品に向かう途中で右折のため信号待ちをしていたところに、積載物を積んだ10tトラックに後方から追突され受傷した。	51	10805	30 ～ 49
10	9～ 10	トラックで家具の配達を終え次の配達先へ向かうため南行した。左折しようとしたところ曲がり切れず、運転手はバックさせようと被災者に誘導を依頼した。そのとき自転車で南行してくる人があり、それを避けようと車を右に寄せながらバックしたところ電柱と車両の間に被災者が挟まれてしまったものである。自転車で気を取られて後方の安全確認を怠ったために重大事故を招いたものである。	41	40301	10 ～ 29
10	5～6	道路を走行中に睡眠状態に陥り、左ハンドルを切り、橋の欄干に激突。	28	40301	10 ～ 29
		大型トラックで野菜を輸送中、最低速度制限50km/hの街灯の無い緩やか			10

10	21～ 22	なカーブの終わる発生場所を、20～25km/hで走行していた。相手車輛を発見し、ブレーキを踏み、右にハンドルを切ったが間に合わず、追突した。	51	40301	～ 29
10	15～ 16	社用車で直進中に、反対車線の店舗から大型トラックが左折してきており、はみ出て来ないだろうと思ってそのまま走行していたため、こちらの走行車線に出てきたところに衝突してしまった。	32	130201	1～ 9
10	2～3	営業用中型貨物自動車を運転して配送業務中、漫然と運転し道路の形状に合わせてハンドル操作を行わなかったことで道路左側に設置されたガードレール等に衝突後、路外に転落横転し負傷したもの。	38	40301	100 ～ 299
10	10～ 11	交差点で、お弁当を病院へ配送中に、一旦停止で停止後、信号がないため、徐行で大通りに進行中に、後方から脇見運転のダンプカー（10トン）に追突された。	53	10109	30 ～ 49
11	10～ 11	引越荷物を載せた2tトラックの助手席に乗っていて、高速道路にて目的地へ向かう途中、雪が降り路面状況が悪いため、時速50～60kmで走行していたがスリップし、トラックが進行方向左側のガードレールに衝突した後、跳ね返って中央のガードレールにも衝突する事故が起こった。事故直後は全身に特に異変はなく、事故処理後にトラックを入れ替え、夕方通常通り引越作業を完了させた。徐々に首の痛みが強くなってきたものの、出張が続いたため2日後の病院受診となった。	26	40302	10 ～ 29
11	20～ 21	下り左カーブを過ぎて直線道路になった時に右側にヘッドが振られ、その後左側に振られた後シャーシから回転し路肩に横転した。	49	40301	50 ～ 99
11	17～ 18	現場の作業を終了し、同僚が運転する車に同乗し、工務店へ戻る途中の緩やかな右カーブを走行中、路面凍結によりスリップしセンターラインを越えて走行してしまい、対向車線を走行して来た車両に衝突した。	23	30201	1～ 9
11	17～ 18	作業を終了し、同僚を同乗させ、工務店へ戻る途中の緩やかな右カーブを走行中、路面凍結により、スリップしセンターラインを越えて衝突した。	57	30201	1～ 9

11	22～ 23	建築用カット部材を中型トラックで現場に運搬後、ぬかる地面にシートを敷き、その上に置いた木製の踏み台（H500程度）に乗り荷下ろし作業中、踏み台が横に滑り咄嗟に掴んだロープと荷の間に左手薬指が挟まれ同部に裂傷を負った。	22	40303	1～ 9
11	18～ 19	病院内でカーテンを取り付けていたところ、乗っていた脚立が完全に開ききっておらず重みで開いた際の振動でバランスを崩し、後方に転倒した。	36	170209	100 ～ 299
11	0～1	交差点に来た時、矢印信号の見間違いで赤信号進入してしまい左から来たトラック、オートバイと衝突した。	69	40201	300 ～ 499
11	23～ 24	交差点で赤信号で停止している時後ろから大型車に追突され、首と腰を負傷した。	57	40301	50 ～ 99
11	13～ 14	収穫物の大豆を、軽トラックで運搬作業中、その農道を西進中、農道十字路で、北進中のゴミ収集車と接触し、軽トラックが転落して負傷した。	60	60101	1～ 9
11	7～8	会社へ出勤後、会社の車（軽トラ）で現場に行く途中、交差点において出会い頭の衝突事故に遭い負傷した。	46	30209	1～ 9
11	8～9	生コンクリートの配送のため走行中、現場手前約3km地点で生コン車後輪がのった途端、林道の右側（谷側）が崩落し、約30m河川敷へ転落した。被災者は生コン車を脱出し、徒歩で工事現場へ助けを求めた。（道幅3m）	43	10901	10 ～ 29
11	16～ 17	太陽光発電工事現場で排出されたアスファルト殻を廃棄処理業社に向かって運搬中、道路横断側溝の道路と側溝の段差で車が上下に弾み、コントロールを失い、路肩から1m下の側溝に滑り落ち、農道とT字路との角に突き当たり負傷した。	63	30301	1～ 9
11	14～ 15	勾配のきつい下り坂で、除草作業中に停車させた作業車が、サイドブレーキが不十分で動き出してしまい、停車させようと運転席側に回り轆かれて	73	170101	1～ 9

		しまった。			
11	14～ 15	勾配のきつい下り坂で、除草作業中に停車させた作業車が、サイドブレーキが不十分で動き出してしまい、停車させようと運転席側に回ったところ、作業車に轢かれた。	73	30199	1～ 9
11	7～8	往路運行中、バス停で停車したところ、後方を走っていたトラックがバスの右側を追い抜こうとしたが、左側方の目測を誤り、バスの右後方に接触した。被災職員は頸部に痛みがあり。医療機関を受診したところ、7日間の安静加療を要するとの診断となった。	52	40202	100 ～ 299
11	11～ 12	産業廃棄物の収集に向かう途中、高速道路が渋滞していて、停止中に後から追突された。	38	150102	50 ～ 99
11	8～9	片側2車線の道路のうち、高速を降りようとしている車で走行車線が渋滞しており、先方の車両は渋滞の先頭に割り込もうと試みた。しかし割り込むには十分なスペースが無く本線に戻った。その際、側方の確認を怠って急なハンドル操作で追い越し車線まで車線変更してきた事で、当方車両の左側部に衝突した。	35	40302	30 ～ 49
11	11～ 12	ダンプから材料を下ろして当社場内の坂道を移動中、荷台を上げたまま移動していたことに気付くのが遅れ、坂の途中にあるシャッターゲートに荷台が接触し、シャッターが壊れて部品がダンプに落下した。その反動で運転室内にて身体を打って負傷した。	57	40301	1～ 9
11	11～ 12	現場施工完了後、現場で発生したガラと余剰合材を運搬する為、加害者が3tダンプの左後ろの歯止めを撤去した。その後、マニフェストの受け取りと次の現場の場所を確認する為、ダンプ付近で打ち合わせをしたが、次に向かう現場の地図が無く、被害者が現場の場所を個人スマートフォンにて調べていた模様である。加害者がダンプに乗り、バックさせる際にダンプ後方でしゃがみ込んで会社のスマートフォンにて電話をしながら、個人のスマートフォンで場所を調べていた被害者に気付かず後進し、ダンプの下に巻き込んで被災した。	25	30199	1～ 9

11	3~4	荷物を降ろして帰るため運転中、原因は判明しないがコースを外れ車止めを乗り越え海にキャビンから落ち、フロントガラスが割れ水が入り逃げ遅れて水死した。原因については警察で調査中である。	62	40301	10 ~ 29
11	16~ 17	交差点で、職場の用事で軽トラックを運転中、赤信号のため停車していた際、後方から後継車に追突された。軽トラックはバンパーがへこみ、衝突した衝撃で、軽トラックの天井に頭を強く打ち、頭や首に痛みを感じたので、病院を受診した。	51	130201	30 ~ 49
11	7~8	会社の場内で、始業時の打ち合せ場所に集合するため歩いていたところ、前方に停止していたトラックが急発進してきたため、左前輪に轢かれ足を負傷したものである。	76	30199	1~ 9
12	8~9	交差点にてレンタカーを回送中（業務）、凍結路面にハンドルを取られスリップし中央分離帯に衝突した事故である。	54	40302	30 ~ 49
12	9~10	路上で、パッカー車のサイドバンパーの上に乗ってトラックを徐行させながら、古紙回収作業中、当日は昨夜からの雨で路面が最悪の状態ですりやすく、ツルツルした路面での作業であった。事故当時は、離れた場所で作業をしており、目撃していなかったため推測しかできないが、被災者が何らかのアクシデントで車から手が離れたか、又は、足を滑らせたか、転落し、パッカー車の後輪に巻き込まれて骨盤を骨折するなどの死亡事故が発生したと思われる。	62	80109	1~ 9
12	14~15	積み込みの為、荷主のところへ向かう途中、高速道路を走行中、吹雪による視界不良の中で後方より走行して来た大型トラックが自社大型トラックに追突して来た事故により負傷したものである。	48	40301	30 ~ 49
12	2~3	4tトラックに乗車し、荷物（積載量500kg~1t）を積んで出発し、片側1車線の道路を走行中、強風に煽られて、センターラインを越えてしまったため、対向車線を走行していたトレーラー（10t）と正面衝突し、被災者が死亡したものである。	35	40301	10 ~ 29

12	11~12	利用者宅へ向かう為私有車にて運転中、道路上で右折するため停車したが、後続の大型トラックの前方不注意により追突された。首から肩にかけて痛みが強く、病院へ救急搬送され治療を受けた。	37	130201	30 ~ 49
12	2~3	走行中、対向車線を走行していた4tトラックが、風にあおられてセンターラインをわり、当社トラック側の車線に入り、正面衝突した。衝撃でトラックが横転し、右ひざ及び首を負傷した。	44	40301	10 ~ 29
12	15~16	高速道路を走行中、渋滞していた所に自車が追突して、前の車両5台を玉つきした事故である。	44	40301	1~ 9
12	17~18	業務時間中、乗客を乗せ、タクシーを走行中、道路上で左側通路から突然トラックが進入し、車両の左前部に衝突した。衝突された際、被災者はエアバックの圧迫により胸部を締められ、また顔面も強打し負傷した。	68	40201	10 ~ 29
12	17~18	当社倉庫間で製品を取りに行くため、助手席に同乗し走行中、前方車両が赤信号で停車したことに14m手前で気づき、ブレーキをかけようとしたが、踏み間違えてそのまま前方車両に追突した。	50	40301	50 ~ 99
12	11~12	交差点を右折した後、道路左側に設置されていた電柱の支線に衝突し、車両と電線を破損させた。その衝撃の影響で首・肩に痛みを生じた。	20	40301	50 ~ 99
12	14~15	お客様実車中、目的地に到着し、停車をして支払い中、当方車両右後バンパーに、トラックが接触してきたもの。	23	40201	500 ~ 999
12	10~11	就業場所に出社するため自転車にて通勤中に、交差点（信号なし）に進入した際、左側から来た中型貨物自動車と出会い頭に衝突し、負傷した。	24	170209	10 ~ 29
12	11~12	納品終了後、前方大型トラックが信号で停止したところ、停止したことに気づくのが遅れ、急ブレーキを踏んだが追突してしまった。その際に左足の膝を運転席ハンドル下部分にぶつけ怪我をしてしまった。	57	40301	30 ~ 49
		当社運転者は、入社後に業務前点呼を受け、荷主営業所に出発し、到着後			

12	1~2	に荷物を積み込み、西に向かって走行中にエンジンが故障した。そのためハザードランプを点灯し、左側に寄せて停車し、車外に避難したところ、運送車両に追突され、当社車両と乗務員に衝突した。乗務員は多発性外傷で死亡した。	65	40301	10 ~ 29
12	17~18	飲料水パレット13tを運ぶために走行中、大型ダンプが中央分離帯から(約30cm)飛び越えて自車両の正面に衝突した。	49	40301	10 ~ 29
12	11~12	インターチェンジ付近で、トラックを運転中に前方不注意で渋滞中の車に追突し、肋骨を骨折した。	49	40301	1~ 9
12	6~7	高速道路走行中、前方のトラックに追突し、反動で路側帯に停車中のトラックにも追突し、死亡した。	52	40301	10 ~ 29
12	4~5	走行中、赤信号のため停車していたの軽トラック車両に追突し、受傷した。	44	40301	100 ~ 299
12	2~3	上りの走行車線を走行中、脇見運転をしてしまい、前を走行していたタンクローリーにぶつかりそうになり、慌ててよけようとしてハンドルを左に切ったが間に合わず、タンクローリーの左後部に追突して横転し、負傷した。	58	40301	30 ~ 49
12	7~8	配達帰り、走行中に橋が凍結していたためスリップし、道路左側の水路に転落して負傷した。	70	80109	10 ~ 29
12	12~13	緩やかな坂道(公道)を委託業務にて配送運転中に、緩やかなカーブがあったため曲がろうとしたところ、ハンドルが思ったより効かなかったため、車がカーブを曲がりきれず、右側にあった段差に車が乗り上げてしまい、そのまま約20m下にある民家の畑に車ごと斜面を3回転して落下した。なお、車は社用車であり、元々ハンドルの効き具合が少し悪かった。	25	40301	1~ 9

12	21~22	運行中、交差点で信号が赤から青に変わり、発進した直後、後方から来た大型トレーラが追突し、追突された衝撃でむち打ちの症状がでた。	34	40301	100 ~ 299
12	15~16	帰宅のため会社所有のトラックで出発し（軽トラックに燃料を給油するため、軽トラックで帰宅）、トンネル内に差し掛かったとき、対向車の大型トレーラーのタイヤがパンクし、横転したトレーラーの下敷きとなり死亡した。	35	150109	1~ 9
12	11~12	4tダンプにて堆肥を配達する業務の途中で発生した事故である。発生現場北側から三叉路へ減速せずに進入し、正面衝突を避けるために左にハンドルを切ったところ、4tダンプが右側に横転し、右腕肘から先を4tダンプと路面の間に挟み込まれた。	40	70101	30 ~ 49
12	13~14	走行中、突然、軽トラックが飛び出してきた。その反動で左側のガードパイプへ接触し、そのまま車ごと崖下へ転落した。	35	150102	30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html